



施工業者様用

〈施工説明書〉

機能引き戸 2枚引き込み戸(シンクロ)専用枠材

ドレタス

調整枠

固定枠

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

- ・屋内専用。
屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。
- ・上レールの固定はインパクトドライバーを使用しないでください。
上レールの固定に際し、インパクトドライバーを使用すると基材に割れが発生したり、ビスが空回りしてレールや引き戸が落下する原因となります。

- ・ビスはビス穴に取り付ける。
ビス穴加工以外の位置にビスを取り付けると、枠材に割れが発生し、ドアの脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

- ・開梱後は換気を行う。
本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。
- ・同梱の金具を使用する。
本製品の取り付け、施工には必ず同梱の金具類を使用してください。
- ・躯体に欠点がないことを確認する。
躯体接合金具を取り付ける際、躯体のビスのあたる部分に節や割れなどの欠点がある場合、金具が固定されず枠材がはずれる原因となり危険ですので、強固に固定できるよう下穴や下地材を入れてください。

お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

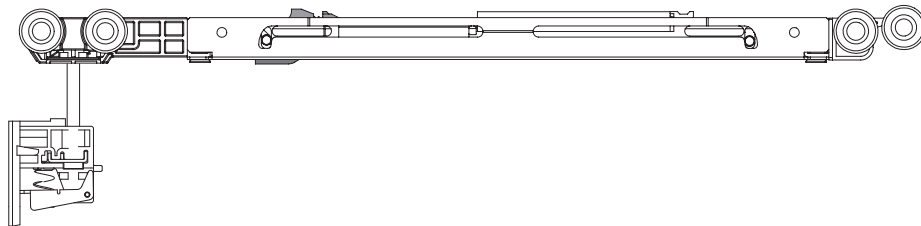
梱包内訳表

※商品の種類によって、同梱されていても使用しない部材があります。

枠本体セット

部材名		堅枠 (開口側)	堅枠 (戸袋側)	中方立	鴨居	鴨居 レール (アルミ)	幕板	金具セット								ビスセット						固定枠 のみ			
								吊車 (灰色)	吊車 (茶色)	振れ止め 金具 (床付用)	戸じり キャップ	上部 キャッチャー	上レール 取り付け ビス (皿ビス) 18mm φ3.5mm	クローザー 本体 (吊車セット)	トリガー セット (ビス 2本 セット)	幕板用 ビス	振れ止め 金具	赤	赤	黄	黄		透明	透明	
入 数	調整枠	1本	1本	1本	1本	2本	2本	1個	2個	1個	1個	1個	12本	1	1	8本	1個	木ダボ	組み立て ビス	躯体接合 金具ビス	ミニレンチ キヤップ	クッション キヤップ	躯体接合穴 キヤップ	+	ビス 58mm φ3.8mm
	固定枠																	2本	6本	14本 (1本使用)	1本 (使用しない)	4個	8個 (4個使用)		
備 考 (部材品番等)		—	—	—	—	—	—	ZYQF21	ZYQF24	ZYTGS21	ZYTNC01	ZYTCC01	ZYTA01 x2P	ZYQSCS21	ZYTTG21	ZYTQ04 x2P	ZYTR01	—	—	※特と製品の 固定に 使用できます。		固定枠は 使用しません。	ZY085 B-K□	ZY085 A□	ZYOZ02
ZYTQS																	ZYMR01								

部材名		ケーシング セット	
入数	調整枠	縦用4本	横用2本
	固定枠	—	—
備考 (部材品番等)		—	—

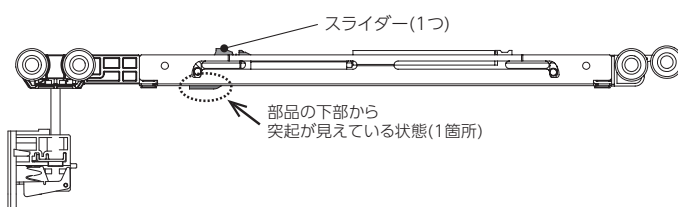


ソフトクローズ付き吊り車【施工注意事項】

レールに挿入する前に「正常状態」であることを確認してください。
「エラー状態」である場合は、スライダーを動かし「正常状態」にしてから
取り付けてください。

正常状態

片利きタイプ

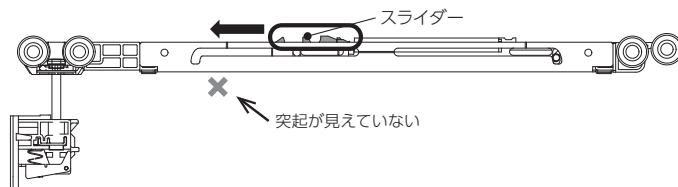


スライダー(1つ)
部品の下部から
突起が見えている状態(1箇所)

※片利きタイプは
スライダーが「左側」にしか
ありません。

エラー状態

「カチッ」と音がするまで
スライダーを引っ張ると
「正常状態」になります。



スライダー
突起が見えていない

ソフトクローズ機能復帰方法 扉吊り込み後

ソフトクローズ機能が作動しない場合、突起の状態を確認してください。
エラー状態である場合は、突起が見えていない方向へ扉を強く押し付けてください。

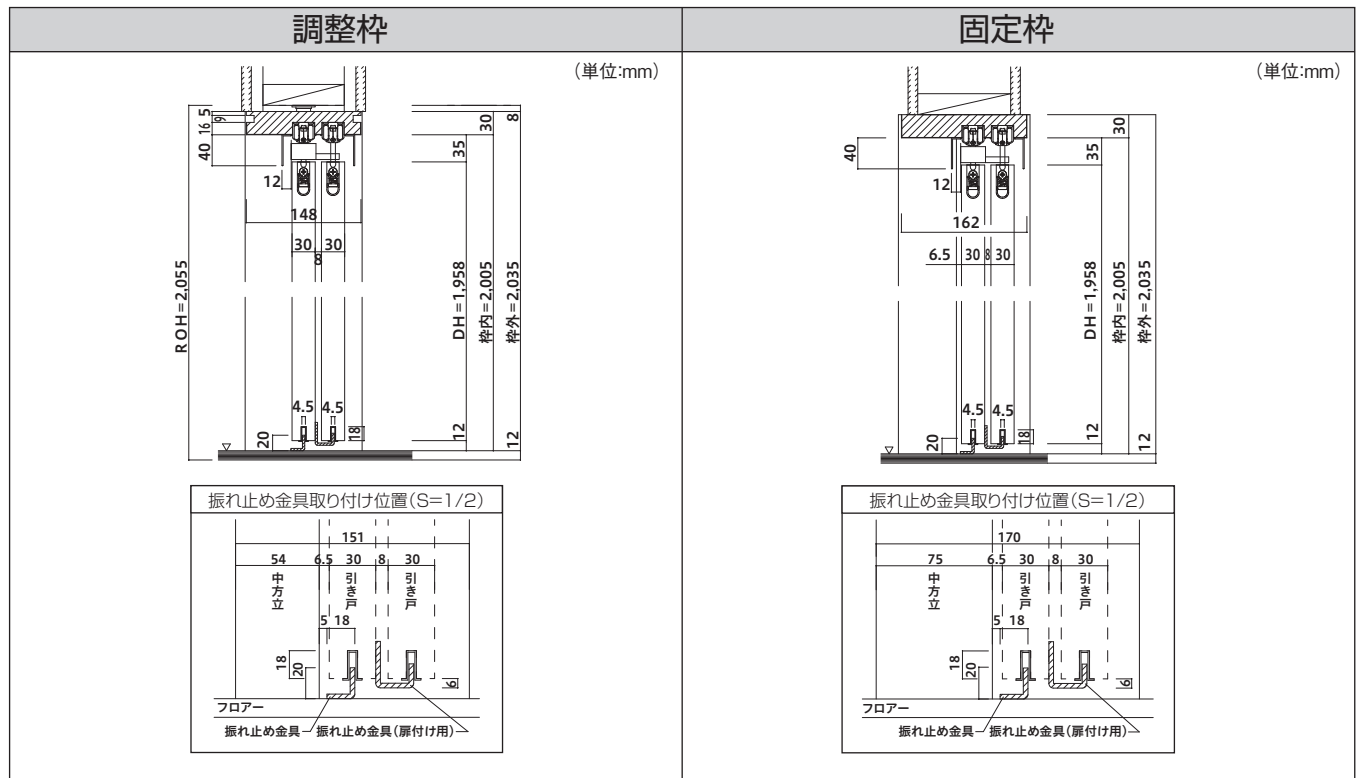


扉を動かして機能が作動することを確認してください。
復帰していない場合は、もう一度同じ作業を行ってください。

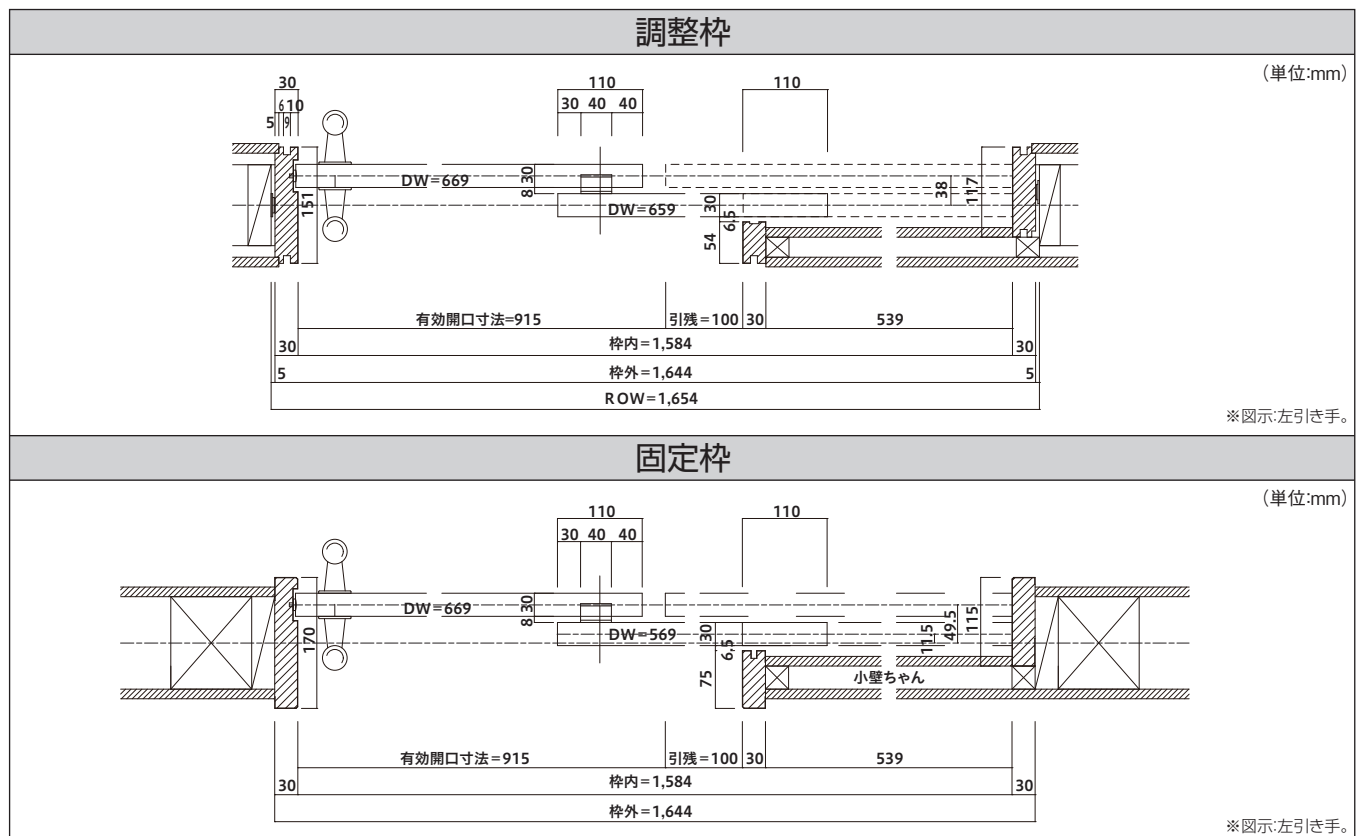
納まり図

調整枠には躯体接合金具が付いているため、下記のラフ開口に準じた施工をお勧めします。
固定枠には躯体接合金具が付いていないので、枠外寸法になった間口を設けてください。

1 縦断面図



2 横断面図



※図示:左引き手。

※図示:左引き手。

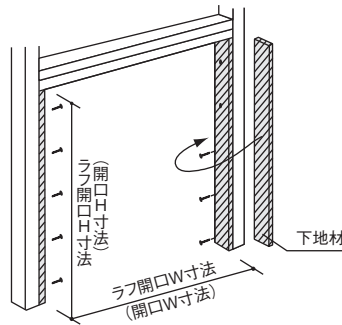
施工手順

施工手順のイラストは調整枠の場合になります。

1 取り付け開口部の確認

固定枠の場合

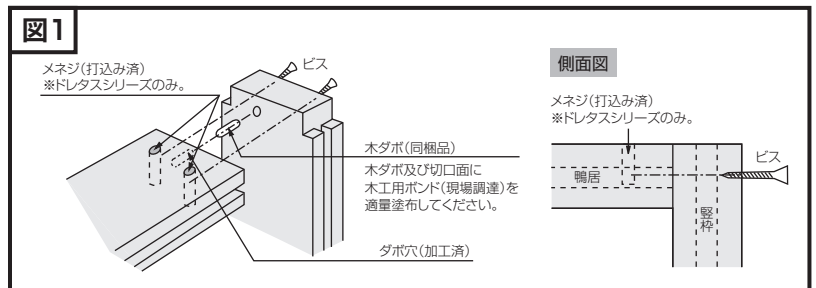
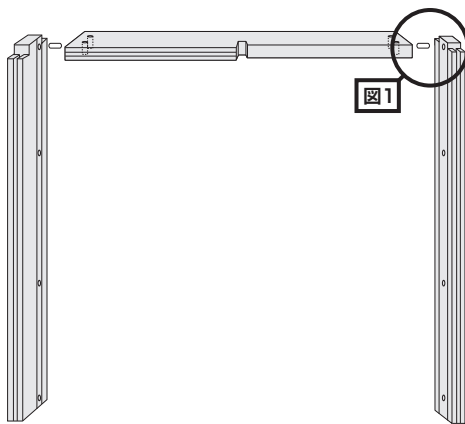
固定枠には躯体接合金具は付いていません。納まり図を参照のうえ、枠外寸法に合った開口を設けてください。



注意

扉の自重に対するビスの保持のアップの為、下地材は必ずダブルでとりつけて補強してください。

2 枠材の組み立て、仮固定

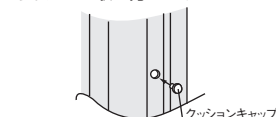


同梱の木ダボ、組み立て用ビス、木工用ボンド(現場調達)を使用して枠材を組み立ててください。

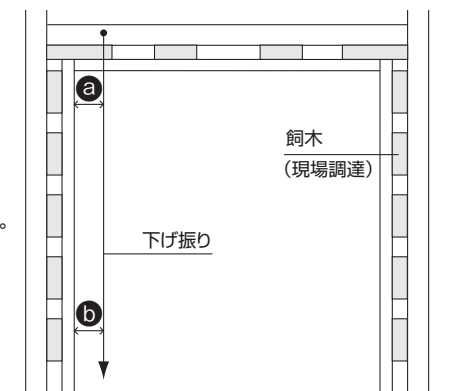
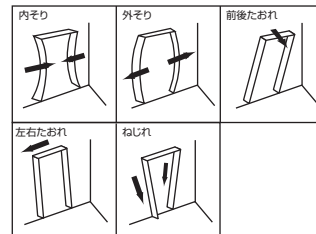
固定枠の場合

開口部に枠材をはめ込み、飼木(現場調達)で水平と垂直、ネジレを調整し、枠材を固定します。枠材の固定は同梱の躯体接合金具用ビスを縦枠のビス穴から打ち込んで固定させてください。鴨居の固定は任意の位置にビスを打ち込んで確実に固定してください。

縦枠を取り付け後、ビス穴にクッションキャップを取り付けます。



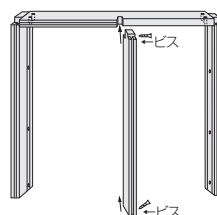
※下記の様なことがないようにご注意ください。



水準器などを使用し、a=bとなるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。

3 中方立と小壁の取り付け

枠材の本固定後、モヘアが取り付けいた方を枠側に向け、中方立を同梱の組み立て用ビスで確実に固定してください。水準器などを使用して垂直に中方立を取り付けるようにしてください。

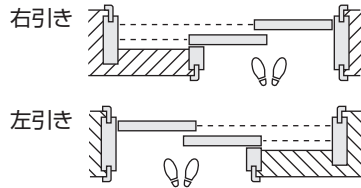


枠組が完了しましたら、小壁を施工してください。

※小壁施工には引戸側への反りが発生しにくく、軸組とボードを簡単に施工できる小壁下地材「小壁ちゃん(別売品)」を推奨しています。

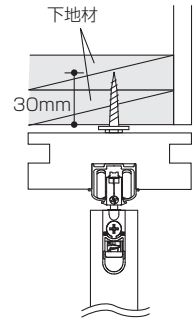
引き手方向の確認

連動引き戸には、引き手方向によって左右の区別がありますので、ご確認のうえ施工してください。



調整枠の場合

開口部に下地材を取り付け、納まり図参照の上、枠外寸法に見合った**ラフ開口**を設けてください。

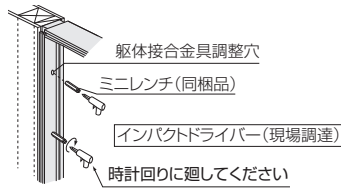
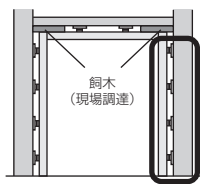


調整枠の場合

■ 枠材の仮固定

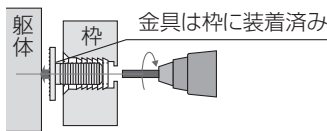
※躯体接合金具の数量はシリーズ引き戸種類によって異なります。下記イラストはイメージです。実際の数量とは異なる場合があります。

組み立てた枠材を開口部にセットします。



金具で突っ張らせて枠を仮固定する

開口部に枠材をはめ込み、水平と垂直、ネジレを調整し、同梱のミニレンチを使用し、躯体接合金具を突っ張らせて枠材を仮固定します。



同梱のミニレンチをインパクトドライバーにチャックして、時計回りに廻し、金具の足を柱まで伸ばします。チャックできないインパクトドライバーの場合は、ミニレンチの十字にビットを差し込んでご使用ください。

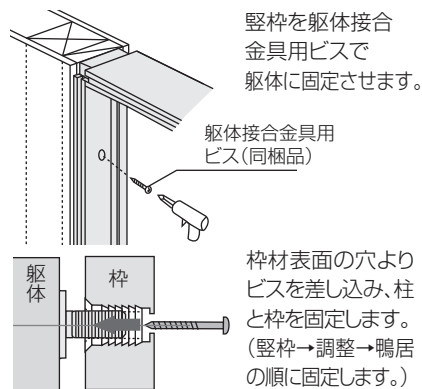


注意

インパクトドライバーのトルクを強くしすぎると、金具が破損してしまうおそれがあります。

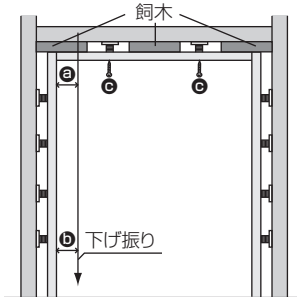
調整枠の場合

■ 縦枠の本固定

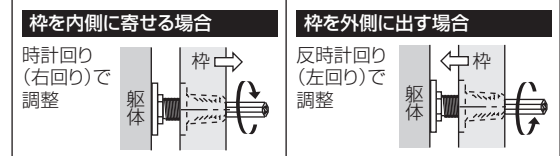


■ 建て付け調整ならびに鴨居の本固定

水準器などを使用し、縦枠、鴨居の水平、垂直をよく確認し、縦枠と同様の手順で鴨居を固定してください。



- 水準器などを使用し、**a = b** となるよう調整してください。併せて前後の建りも調整してください。
- 建りを調整後、最後に固定してください。



※下記の様なことがないようにご注意ください。



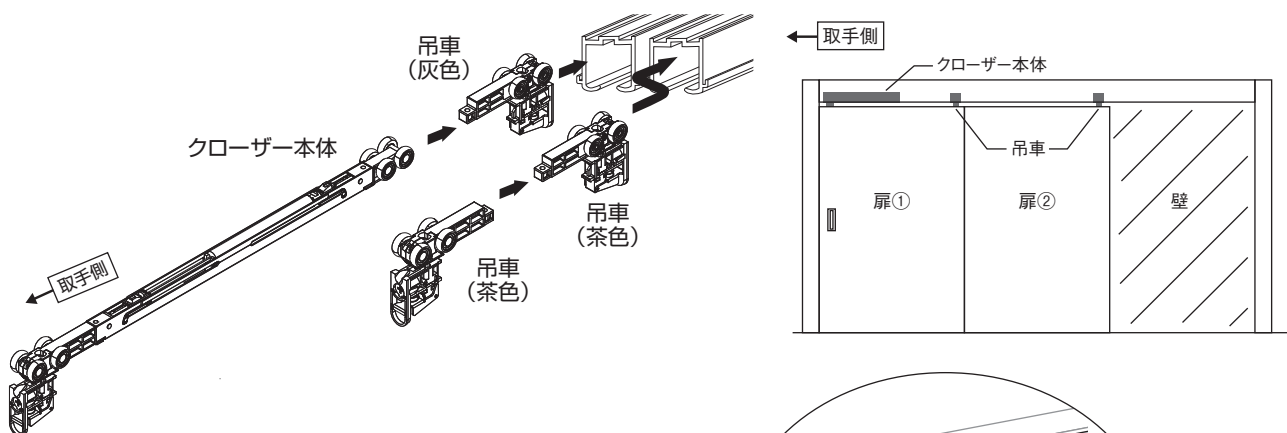
4 鴨居レールの取り付け

⚠ 施工には必ず付属の部品を使用してください。

片側ソフトクローズ 仕様 標準

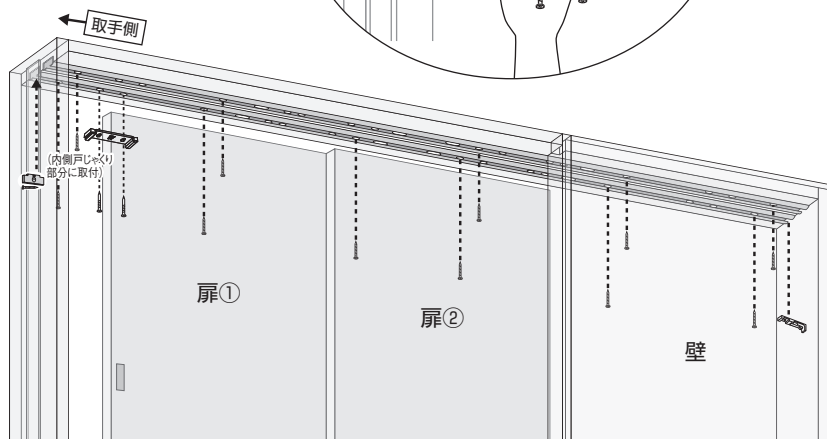
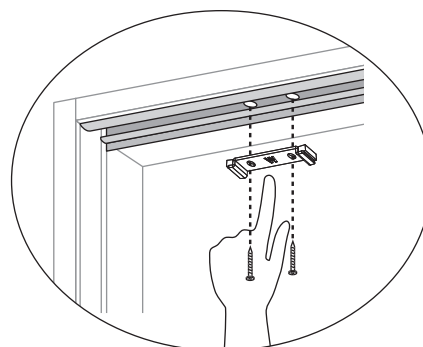
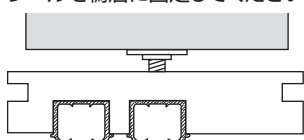
①クローザー本体と吊車の挿入

鴨居レールに吊車を挿入してください。吊車はソフトクローズ機構の使用状況により下図のように向かい合わせでレールに入れてください。挿入方向を間違えると、扉が取り付けられないのでご注意ください。



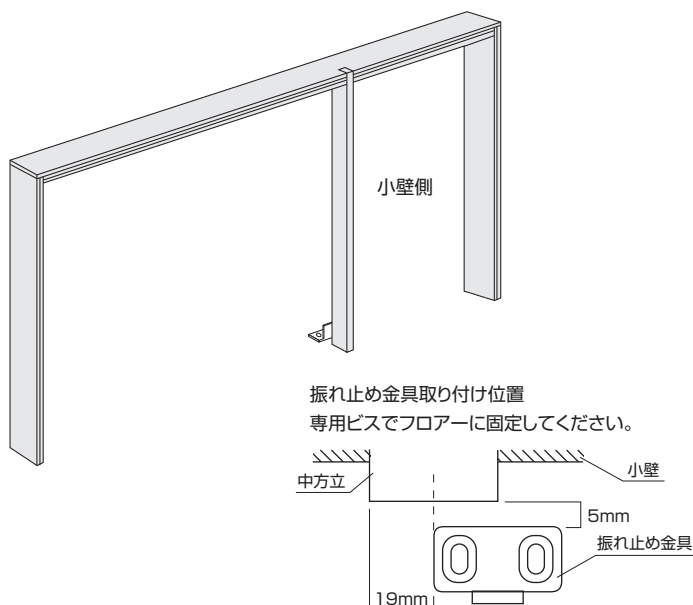
②鴨居レールの取り付け

クローザー本体をレールに挿入してからレールを鴨居に固定してください。



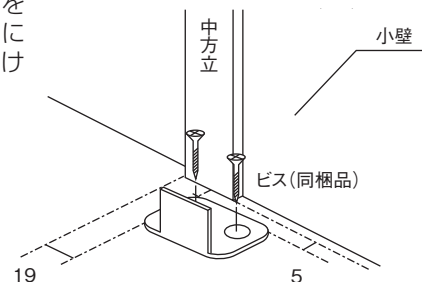
※このイラストではクローザー本体、上部ガイドのイラストは省略しています。

5 振れ止め金具の取り付け



振れ止め金具(床付け用)を下図のように床に取り付けます。

振れ止め金具(床付け用)

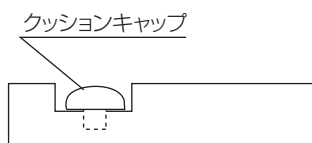


※図は右引き(R)の場合です。

6 クッションキャップの取り付け

固定枠の場合

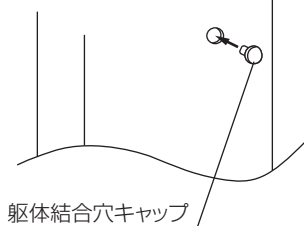
〈戸先側〉



縦枠にクッションキャップを取り付けてください。

※クッションキャップは確実に取り付けてください。確実に取り付けていないと外れてしまうことがあります。

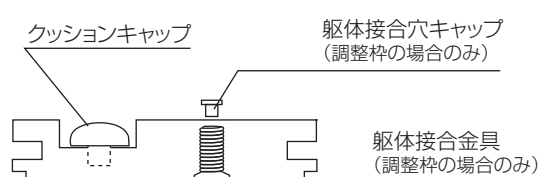
〈戸尻側〉



戸袋側(戸尻側)の縦枠には躯体結合穴キャップを取り付けてください。

調整枠の場合

〈戸先側〉

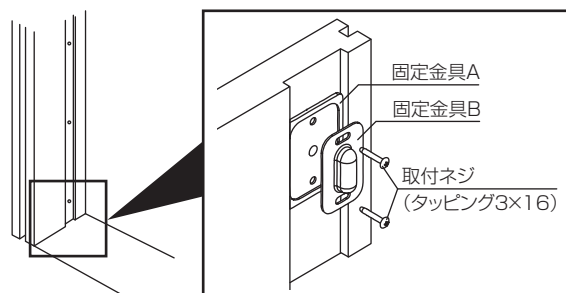


縦枠にクッションキャップを取り付けてください。

※クッションキャップは確実に取り付けてください。確実に取り付けていないと外れてしまうことがあります。

7 開き防止金具の取り付け

扉が振れることを防止するため、開き防止金具(マグネット)を取り付けます。

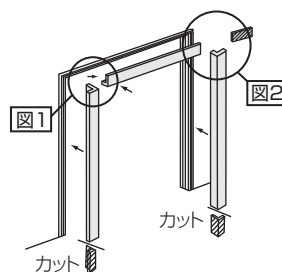


クッションキャップ穴のいちばん下に固定金具Aを差し込み、固定金具Bをかぶせ、位置決めを行い、ビス止めします。

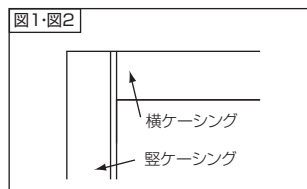
8 ケーシングの取り付け

調整枠の場合

ケーシングの取り付け

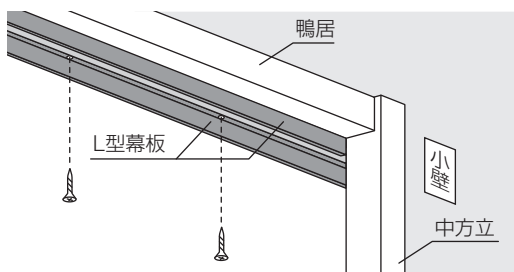


ケーシングの寸法を現場で調整しカットしてください。寸法を調整したケーシングを木工用ボンド(現場調達)を使用し、取り付けてください。



9 L型幕板の取り付け

※扉を吊り込んだ後に取り付けてください。



引き戸を吊り込んだ後にL型幕板を上レールに合わせて両側に取り付けてください。

注意

L型幕板は扉を吊り込んでからの作業となりますので無くさないよう大切に保管しておいてください。

10 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

